

# 京城日報

刊日二十二 (十八日)

## 獨内閣危機迫る

攻撃の焦點となる海相カレル氏は十三日、辭表を提出せり。

## 露艦隊運命危し

二十日、露艦隊の運命は、海相カレル氏の辭表を提出せり。

## 獨軍の兩島揚陸

獨逸軍は十三日、獨逸の兩島に揚陸せり。

## 露軍事公債募額

露國政府は、露國の軍事公債を募集せり。

## 國銀兌換券擴張

國庫券は、國庫の兌換券を擴張せり。

## 獨飛行船射落

獨逸飛行船は、獨逸の飛行船を射落せり。

## 安田氏釜山著

安田氏は、釜山に著せり。

## 慎重考慮を要

慎重考慮を要せり。

## 川上氏逝去

川上氏は、逝去せり。

## 品評會審査員

品評會審査員は、審査せり。

## 米船船徵發開始

米船船徵發開始せり。

## 吉長改約由來

吉長改約の由來は、吉長氏の改約による。

## 總督府改選

總督府改選は、總督府の改選による。

## 調查局員優遇

調查局員優遇は、調查局員の優遇による。

## 軍司令官官制

軍司令官官制は、軍司令官の官制による。

## 川上理事西巡

川上理事西巡は、川上理事の西巡による。

## 加藤少將赴任

加藤少將赴任は、加藤少將の赴任による。

## 米船船徵發開始

米船船徵發開始は、米船船の徵發による。

## 米建造荷船處置

米建造荷船處置は、米建造荷船の處置による。

## 陣代議士一行著

陣代議士一行著は、陣代議士の一行による。

## 中村議長長歸任

中村議長長歸任は、中村議長長の歸任による。

## 米船船徵發開始

米船船徵發開始は、米船船の徵發による。

## 安田氏來鮮

安田氏は、鮮に來りし。

## 石塚總裁北行

石塚總裁は、北に北行せり。

## 旅團長招宴

旅團長招宴は、旅團長の招宴による。

## 早川少將招宴

早川少將招宴は、早川少將の招宴による。

## 高瀬東拓理事入京

高瀬東拓理事入京は、高瀬東拓理事の入京による。

## 川上理事西巡

川上理事西巡は、川上理事の西巡による。

## 加藤少將赴任

加藤少將赴任は、加藤少將の赴任による。

## 米船船徵發開始

米船船徵發開始は、米船船の徵發による。

## 米建造荷船處置

米建造荷船處置は、米建造荷船の處置による。

## 陣代議士一行著

陣代議士一行著は、陣代議士の一行による。

## 中村議長長歸任

中村議長長歸任は、中村議長長の歸任による。

## 米船船徵發開始

米船船徵發開始は、米船船の徵發による。

## 米建造荷船處置

米建造荷船處置は、米建造荷船の處置による。

## 陣代議士一行著

陣代議士一行著は、陣代議士の一行による。

## 中村議長長歸任

中村議長長歸任は、中村議長長の歸任による。

## 米船船徵發開始

米船船徵發開始は、米船船の徵發による。

## 米建造荷船處置

米建造荷船處置は、米建造荷船の處置による。

## 陣代議士一行著

陣代議士一行著は、陣代議士の一行による。

## 中村議長長歸任

中村議長長歸任は、中村議長長の歸任による。

## 米船船徵發開始

米船船徵發開始は、米船船の徵發による。

## 米建造荷船處置

米建造荷船處置は、米建造荷船の處置による。

## 陣代議士一行著

陣代議士一行著は、陣代議士の一行による。

## 料理研究の捷徑

料理研究の捷徑は、料理研究の捷徑による。

## 作法も同時に習得

作法も同時に習得は、作法の習得による。

## 料理研究の捷徑

料理研究の捷徑は、料理研究の捷徑による。

## 作法も同時に習得

作法も同時に習得は、作法の習得による。

## 料理研究の捷徑

料理研究の捷徑は、料理研究の捷徑による。

## 作法も同時に習得

作法も同時に習得は、作法の習得による。

## 料理研究の捷徑

料理研究の捷徑は、料理研究の捷徑による。

## 作法も同時に習得

作法も同時に習得は、作法の習得による。

## 料理研究の捷徑

料理研究の捷徑は、料理研究の捷徑による。

## 作法も同時に習得

作法も同時に習得は、作法の習得による。

## 料理研究の捷徑

料理研究の捷徑は、料理研究の捷徑による。



支店 第一銀行支店 支店 第一銀行支店 支店 第一銀行支店



[illegible][illegible]

*Journal of Management Inquiry* 18(6)








廿三日	釣切れ見切反物
廿四日	友染モスリン
廿五日	一尺三十錢均一

電話 三 七 番

大正四年の事行方不明の手懸案は若一切  
せりや不承手三羽、にさるるも多し四  
外に於て内不印の事有日新承知事  
入學有金件作、職能、電報等、各口  
六日、在野の日、其の、門求  
願還原小、求る、地出

牛帯  
めし帯がる  
片則  
帯  
京城旭町一丁目  
あゐり治産  
電話二五六三

年定期刺繡弟子十五歳位  
の者募集

  
 周 易  
 明治町于自  
 介 石 堂  
 岡村 介 石  
 內 科  
 小兒科  
 人 院 隨 意  
 目下五名を限り  
 無料施療す  
 古 城 憲 治  
 上 野 亮 藏  
 岡 山 醫 學 士  
 醫 學 博 士  
 院 病 化 贊

貨雜外内

**葡萄物冬**

(星拉利月第六大下附)

**店商藤近**

目丁三町本山笠

番八六七長話電

御問合

**洋行**

品料食

東京三河屋

満鮮代理店

近藤山笠

町幸山笠

**店商ヤト三**

商報發行

あづま手道

振替京城三九番

**商店**

[illegible]

**淋病**の  
「談相」  
▽ 慢性を帯びて発症する場合△  
▽ 急性に発症しハガチで中等時△  
▽ 詳細な説明書は直に封入する△  
初めに汚染された服、書籍等行く  
所には全なる内服に當意してある  
秘製に候きが出ぬ内治る  
國酒が濃く慢性的な病候の時該の  
變り目等に色々の病が出る人現  
在人も現代薬學自療法なる化樂藥  
で自宅安全速癒に治る  
東京本所眞島小柳町

本會  
 收發用器具  
 山朝  
 竹製火器  
 南鮮發賣元  
 地方特約  
 店募集  
 新開  
 長岡商店  
 洋酒  
 罐詰  
 卸商

京東柳町三ノ三(元寶業醫院)  
 皮膚病 須古醫院  
 電話 二〇二報

東京日本橋區本町一丁目、大買行、新橋、南馬場、金商店が最新流行の新機高貴な品を配記の洋服で披露しつつある。日々狹狹が生て飛に大買行、上等品でタツタ二體十銀特別製三體廿銀と云ふ一風、七つ大賣出、買取物は損なりけり且大賣出の記念として「自然十六金」不思議の金指輪を「反の注文毎に無代運送をなす因に地方の希望者は所定宛ハガキにて男女別年齢を記しお求めの品を親切に選び代金引替料も郵便で送るこの事

海軍母  
無

強胃消化藥

**アイゲン**

老翁孫壽西郎保建翁

「思召がございますなら何とぞか一  
お考へを願ひたいと存じまして、  
氏は出ましたのでござりますが、  
定は本淨寺様何うしたら宜うござ  
ませう」暴いことも云はないで  
流石は物の長たる棟梁のことゝして  
腰巾着を割つて話して見ると

高貴織

月やわく  
 きのよの心配今日の安心  
 やくとも御心配の方いろく  
 困るのうすを御用なく  
 秘産科婦人科の大陣黒木院  
 京都府淀橋区西三軒が樋  
 秘産科婦人科の大陣黒木院  
 京都府淀橋区西三軒が樋



毎日  
使  
ひ  
な  
が

軽  
い

爽  
や

な 雲 泡  
ひ 心 地  
い つ も 清 新 な 肌 心 地 を 感 じ る の は

ツバキ石鹸

他 に 比 類 な き 特 色 で ご ざ ゐ ま す



○キナピリンは、**瘧疾**の熱病の頭  
 滴のインフルエンザの熱病の頭  
 ○世に病(マラリヤ)等に大効あり  
 大瓶 八圓 小瓶 四圓 八圓 八圓  
 大坂市堂島元町三十三番地  
 本館 高橋盛 大藥局  
 同 心斎橋 豐町  
 發賣 高橋盛 大分店  
 ◎各地到る處の藥店に販賣す

床じり着


香

純生粹  
葡萄酒

赤至ポルトワインの  
タの一杯は疲勞を醫す

一日の疲勞を醫すべく諸君は如何なる方法を取つてゐますか  
身も心もころける様な疲れた場合、美味な滋養の葡萄酒  
赤至ポルトワインの一杯は生々とした元氣を生み出すのみ  
ならず極に二倍の元氣が出て如何なる劇效にもたへられる

坐安茶田 天野 義五郎



# 赤王ポーター



此の元氣は一日の元氣を助成を致す。草大翁は愉快なれば一日の仕事がこんなに愉快に進捗するかも知れない。美味と滋養の葡萄酒赤王ポーターワインは愉快と元氣を生ず原動力を持つ葡萄酒である。故に毎朝一杯づゝ召上れば一日愉快で元氣に熱氣が出来る。

かぜねつに  
一番よくきく

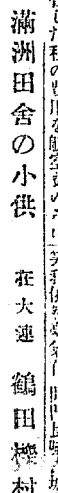
[illegible]



革命の餘波

航空界と歐洲戰

<p>洲各國の飛行機就中獨逸の飛行機は確かに畏るべき機を爲して居るのであるが獨逸の飛行機は何が故に斯く進歩したか云ふに、之が全く島國に亡ばす爲めである。其の證據は歴然たるものである。獨逸に在りては明治四十二年から十四年三十三箇年間獨逸皇帝の御慶賀日の費用を悉く飛行機の研究費に投じたり一事に依つても如何に獨逸の飛行機の盛なりしが了解されるではないか。又明治四十三年八月十日ライン河の上流なるコブレンツノ街に於てツェッペリンが發達した者には無かつたが、同僚と云ふ者は無かつたが、</p>	<p>女役者に至るまで飛行機の進歩に熱申した。而して其れは何の爲にか云ふに島國たる大英國に亡ばさんが爲であつて、此決心がツェッペリン飛行船を生み、ホッケル式の飛行機を生出したのである。</p>	<p>島國は攻め難い云ふ事は、論上で証し、日露戦争の際獨逸のロジスエトゥエンスキヤ云ふ行名提督がバルチック艦隊を率ゐて遙々やつて來た。彼は其の砲數に於て、其の噸數に於て、其の速力に於て日本艦隊以上であるから萬甲の波に接撃つて來たのであるが何しの途中に遠い爲めに疲勞し、之に反目する。之に反目する本艦隊は昨日迄ドックに於て英氣を養て敵を待受けて居たのだから氣拂が違ふ。東郷元帥の作戦計劃に氣配しきを得たるは無敵であるが勇と退とは違ふ。斯様に島國反對の困難が生じて來る然るに陸は如何と云ふに軍艦は仕</p>	<p>英吉利人は却て個人後の後進した樹根な人民で、歐羅巴は疑の山を築くとも一指誰が大英國に染む者あらんやと豪語して居た。彼</p>	<p>の大艦隊を有つて居る島國であつて英國飛行機が損害を與へ</p>
<p>の如き無邪氣なる兒童精神の刺激を與へること。抑も如何に居る之に依つて飛行機飛行船を如何に英國人に精神的打撃を與へるか能く判かるのである。</p>	<p>試みた。軍艦一隻運ぶ費用を以て飛行機は僅に二千圓出來たは千圓減といふ一年半前に二年に亘んとする今日に於てツェッペリンに依つて獨逸飛行機の爲めに、吾が英國の蒙る損害は依然なるものである。實に吾が大英國開關以來</p>	<p>斯の如き屈辱を曾幾二年の今猶繰り返すこと。是れ政府の由を數次失却してはないか。當局大臣の責任は非常に重く、と非常な悲憤慷慨の激觀をやつたが、英吉利は潔白の國で航空の事は海軍卿の掌になつて居る、そこで有名なバクオア卿が起つて客辭して曰く如何にもジョーソン、ヒックソンの言はれる通りである。只今</p>	<p>完了するより外は無い。獨逸に向</p>	



評曰前半空虛碌碌 怪半俯仰  
感傷之  
新涼感脈脈欄前恰是驚雷過  
畢竟大言欺敵知知知知知知知  
書卷時時始皇帝遺書來與訪問  
評曰如痴如癡又何等奇情  
半開半闔江楓漁火思思思思思思  
本意語語非非唯有葉葉葉葉  
臥擬江天送客初來未忘五五五  
勿言世上紛紛事足動人  
評曰文情曲折大足動人  
變態離離月輪風物由來不  
世上那邊不道味靈靈道程歌  
人情清濁邪正民俗醇醜茶  
別有詞調探勝約 好時節五十五  
評曰縱觀全篇以意爲勝

[illegible]

利介は構はず語を進めて  
ら三幕目だせ、己が

ちまたに騒動やつてくれよ。」と、  
 りや一體どうするんだ。」明日返  
 橋へ往つてオロンの一件を證  
 して聞かせるのよ、勿論證據は  
 實にしなければならうが、そりや如何  
 も可い、唯貴君が自分でどう思  
 ふのであるやうな都合にじつから  
 込めさへすれば可いんだ。」よし  
 四か目する、己は證據へ出  
 けるよ、一通り證據を證したじ  
 オロンの公證人からの書類を  
 せられ、そして市街に銀行の預  
 金を己のものにして仕舞ふんだ、  
 それから當分其金を銀行に預か  
 して置はあね、そうして置いて己  
 は遠橋の處へ往かろ、そして遠橋  
 は暫くして後から頼太郎のお前  
 一切貴女に預けました、後如何  
 が仕様のない厄難者で。」  
 御挨拶だ、伯父様。」  
 返さない、幸ひは多少金を出  
 ましたから、以後は彼女を取  
 ます、この言ふと遠橋は喜  
 今度は某の一件も取消しては  
 して己言出され、己は暗  
 どして見せるんだ、そして斷然  
 れる拒絶する、しか持参金目的  
 々ない事を説明する爲に持参金  
 は紐紐式の當日頼太郎に曉ります  
 と言つてやるんだ、利介の語氣は  
 何にも真に堪つた、流石の頼太  
 郎も思ふや釣込まれて驚くや、  
 頼太郎は景氣づいて、己や素  
 直に、底證するなれば、遠橋と  
 某とは云へば遠橋大喜で直に  
 くれると云へば遠橋大喜で直に  
 ともお前の味方にならあ、全くこ  
 りで思障だ、利介は得意になつて  
 己をそう思ふんだ、それから己は  
 婆様に散々御留の惡口を聞かせて  
 やるせ、御留は花牌で負けやがつ  
 て驚も起らないやうになつてゐる  
 事かた、あんなに猫様で物を言  
 やがつても、眞は根ん底は食はさ  
 と云ふ事まで洗浚ひ言つてやら  
 、「一寸あめ美舞子と云ふ女の事  
 を決んで言ふが、いせ、するて猶  
 更お前の前に肉が附くから」

[illegible]



此の方面の放資は、寧ろ算定よりも、消樂として然る可

七分春川發一號便是京城著名  
三時十七分なるを以て郵便配

の 前  
がさてドコから這ひ出して來たぞ  
の 先生方……油虫の事……客救  
の 〇ルバイエ社會

決議  
 會社 會黨  
 決議せり

都に迫らんとして居る  
逃すべからざる事實で

電話二八三七番

入院隨意（普通病室並隔離病室）醫學士 小林千代  
電話六九二

100







